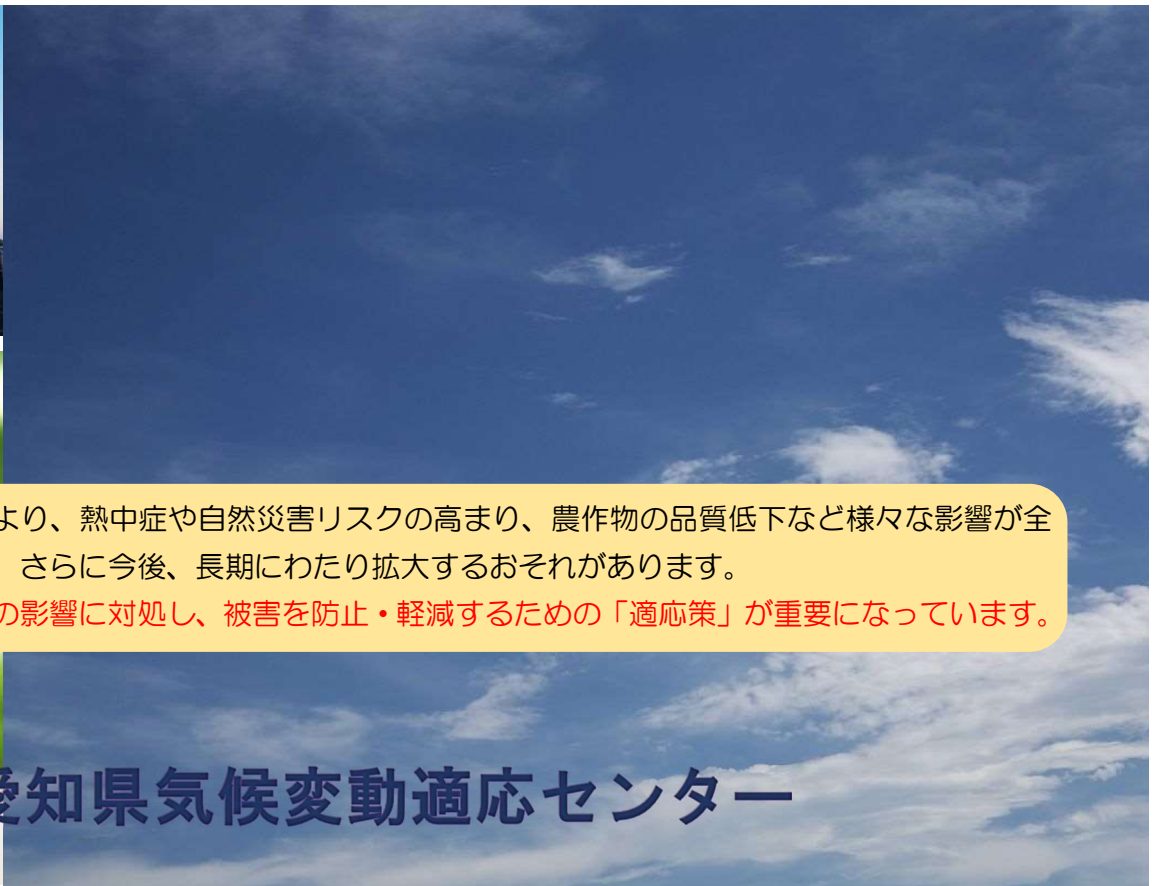
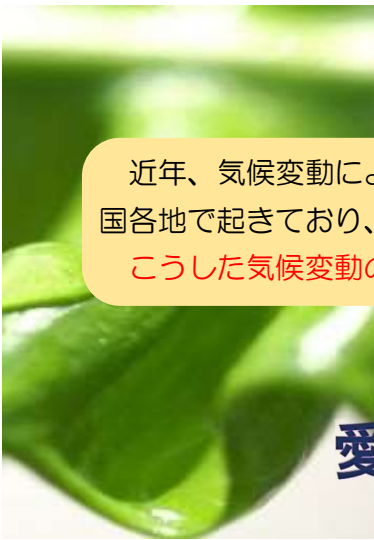
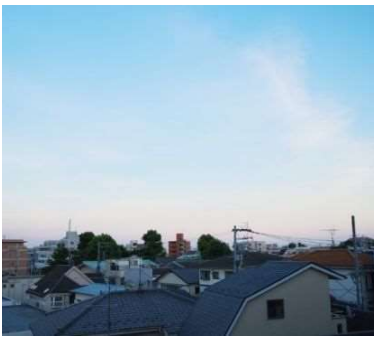


# 愛知県の気候変動適応



近年、気候変動により、熱中症や自然災害リスクの高まり、農作物の品質低下など様々な影響が全国各地で起きており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがあります。  
こうした気候変動の影響に対処し、被害を防止・軽減するための「適応策」が重要になっています。

愛知県気候変動適応センター

# 1 世界や日本の気候の変化

世界の年平均気温は19世紀後半以降100年あたり0.72℃の割合で上昇しており、現状を上回る温室効果ガス排出削減策をとらなかった場合、21世紀末には20世紀末と比較して2.6~4.8℃、排出削減策を積極的に行っても0.3~1.7℃上昇するとされています（左図）。また、日本では世界より早いペースで気温が上昇（右図）しているほか、異常高温の出現数の増加、短時間強雨や大雨の頻度の増加など、**既に気候変動が生じており、さらに今後気候変動による影響のリスクが高くなる**と予測されています。

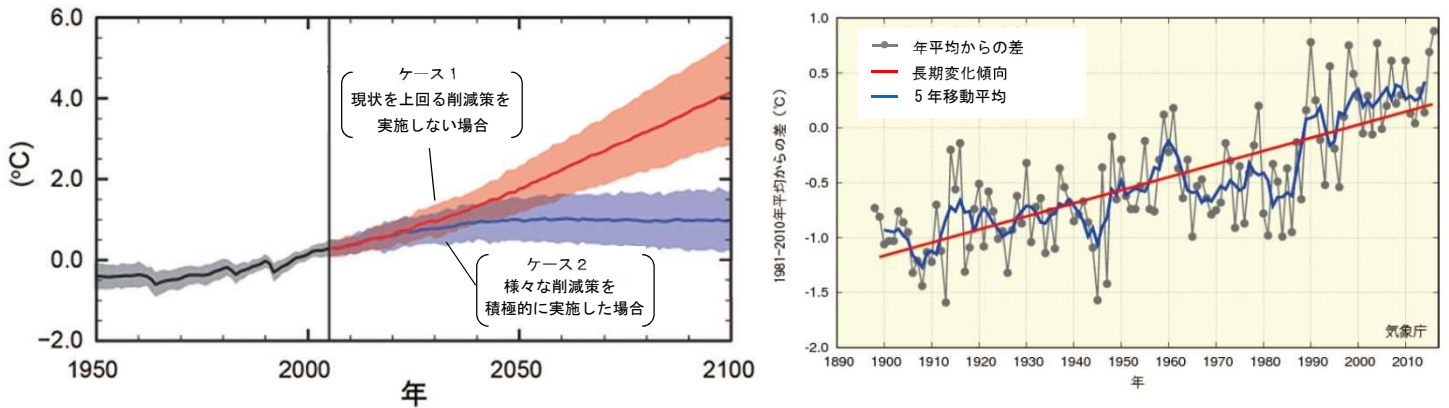


図 世界の年平均気温の将来変化（左）と日本の年平均気温の経年変化（右）

出典：気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018（環境省 文部科学省 農林水産省 国土交通省 気象庁）

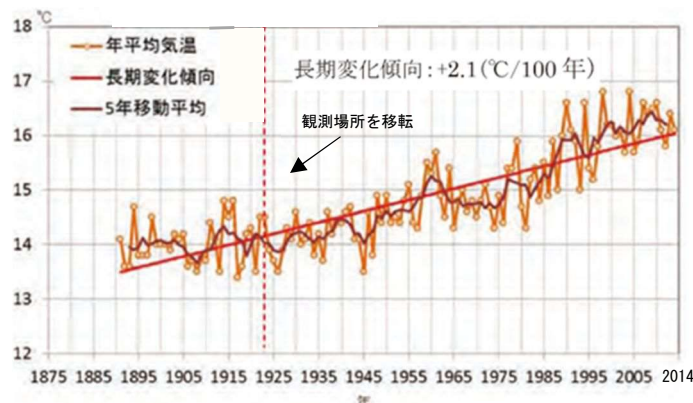
## 将来日本で予想される気候変動とその影響



## 愛知県でも気温上昇が続いています

・年平均気温の経年変化は上昇傾向。100年で2.1℃上昇※

※1891~2014年（124年間）の統計データから算定



・真夏日も増加傾向。100年で11日増加※

※1931~2014年（84年間）の統計データから算定

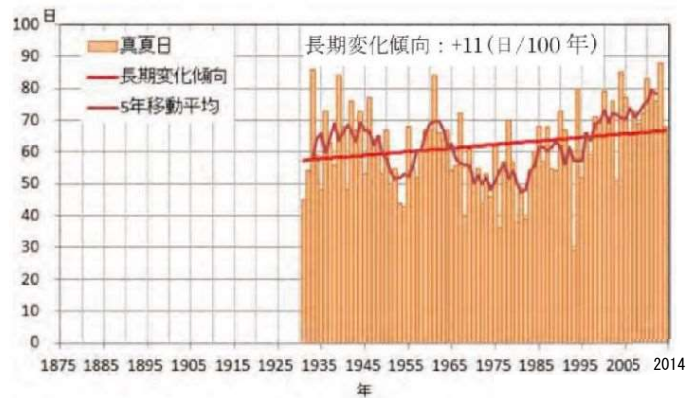
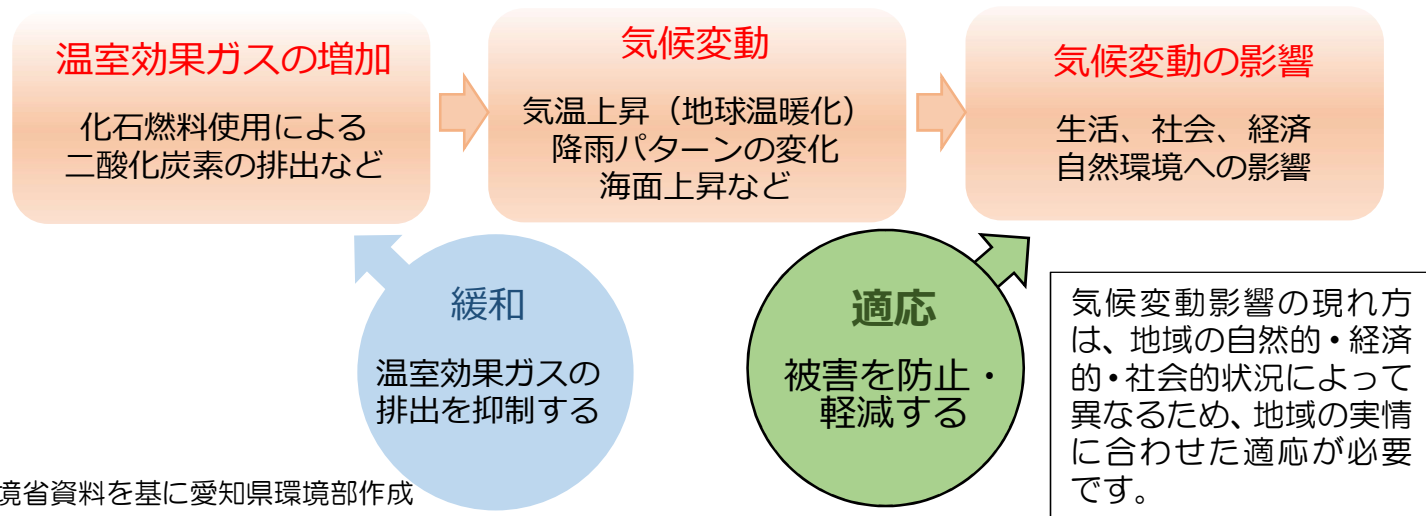


図 名古屋地方気象台の年平均気温の経年変化（左）と真夏日日数の経年変化（右）

出典：気候変化レポート2015 一関東甲信・北陸・東海地方一（気象庁東京管区気象台）

## 2 気候変動による影響への適応

気候変動のリスクを小さくするためには、温室効果ガスの排出量を抑制する緩和策だけでなく、影響に対処する（適応する）ことが必要です。



## 3 気候変動適応に向けた愛知県の取組

愛知県で実施している気候変動適応に資する取組（適応策）は、地域気候変動適応計画である「あいち地球温暖化防止戦略 2030」の第5章に取りまとめており、適応策の推進方針や庁内体制についても記載しています。

### あいち地球温暖化防止戦略 2030 における適応策

分野	主な適応策の例
【農業・林業・水産業】	・ 高温耐性品種の導入 ・ 施設園芸での高温対策技術導入 ・ 排水機場や排水路等の整備 等
【水環境・水資源】	・ 河川・湖沼・海域のモニタリングの実施 ・ 下水処理水・貯留雨水の利用促進 等
【自然生態系】	・ 地域固有の生態系や希少種の分布の変化を的確に把握するためのモニタリングの実施 等
【自然災害・沿岸域】	・ 河川における被害の軽減 ・ 土砂災害危険箇所の施設整備 等
【健康】	・ ウェブページでの熱中症の注意喚起、救急搬送状況の掲載 等

また、本県の地球温暖化対策について定める「愛知県地球温暖化対策推進条例」において、気候変動適応に資する取組（適応策）の推進と、県民の方々が気候変動に適応した取組を行っていただくために必要な情報の提供に努めることとしています。

# 4 愛知県の気候変動適応策の事例紹介

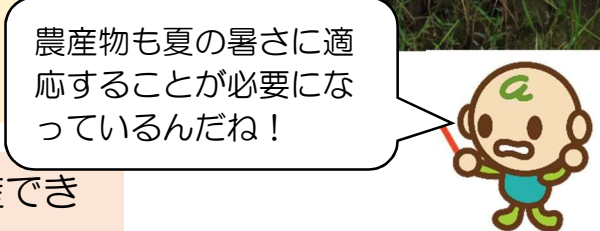
夏季の高温  
への適応

## 高温耐性品種（稲）の導入 ～なつきらりの品種開発～

愛知県農林水産部 平成 16～25 年事業



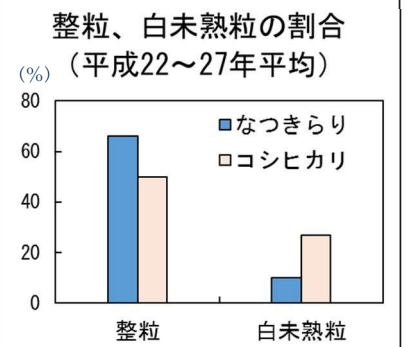
- ✓ 夏季の高温によりコシヒカリに白未熟粒が発生
  - ⇒ 一等米比率の低下 (全国平均約 80% 愛知県 43% (平成 20～27 年平均))
  - ⇒ 農家の所得減少
  - ⇒ ひいては愛知県産米の評価低下



夏季が高温であっても品質が良い米を安定して生産できる品種が必要

- 高温に強い品種に、コシヒカリを交配し、高温耐性品種を選抜育成 ⇒ 「なつきらり」の品種開発

- 特徴**
- コシヒカリに比べ、白未熟粒の発生率が低い
  - 味、粘りなどはコシヒカリと同等



出典：愛知県農業総合試験場研究報告第 47 号

将来の海面上昇  
への適応

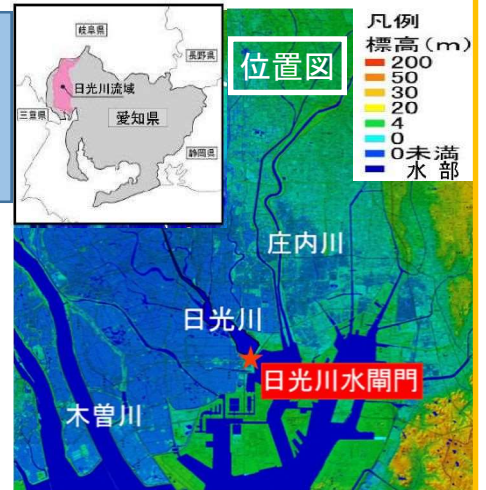
## 河川流域での被害軽減 ～日光川水閘門改築事業～

愛知県建設部 平成 19～29 年度事業

- ✓ 流域の海拔0メートル地帯を高潮・津波から守る防災の要だが、老朽化による機能低下の懸念

長期的に利用可能な施設に改修する必要

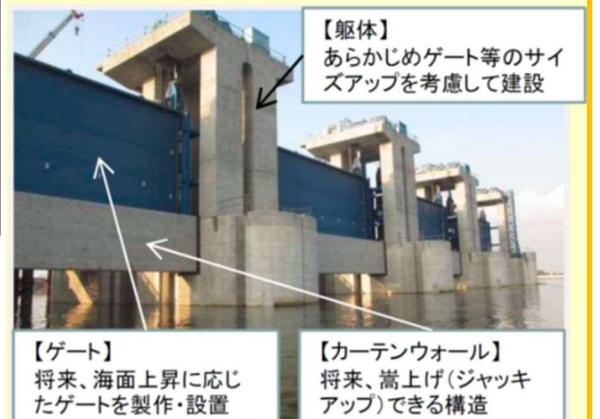
- 大規模地震への備えとした構造に加え、**将来の地球温暖化による海面上昇を考慮した構造**を採用
- 海面上昇の予測の不確実性も考慮
- ⇒ **ある程度の海面上昇に対応できる構造**



出典：デジタル標高地形図「中部」(国土地理院)をもとに愛知県環境部作成



適応の考え方を取り入れて、できるだけ手戻りの無い施設をつくったんだね！



## 5 愛知県気候変動適応センター

### ✓ 役割

愛知県における気候変動適応を一層推進するために必要な情報を取り扱う拠点として、国立環境研究所と連携しながら、県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析や事業者、県民等への情報提供、さらには市町村等への技術的助言等を行います。

### ✓ 開設場所

愛知県環境調査センター 1 階  
企画情報部内

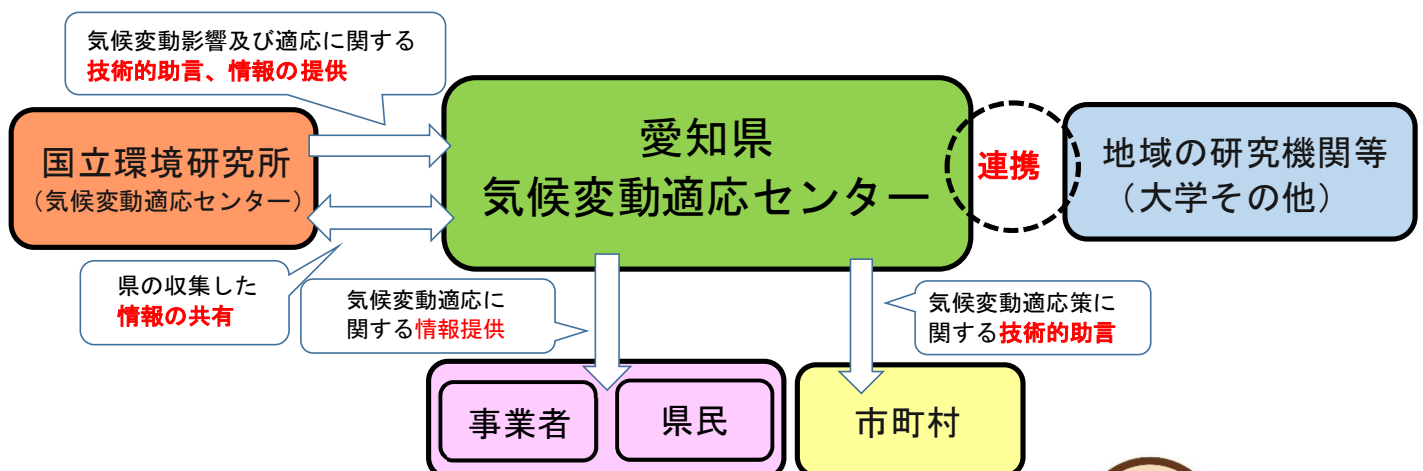
#### 関係法令

気候変動適応法 第 13 条第 1 項、第 2 項  
愛知県地球温暖化対策推進条例 第 21 条

### ✓ 業務内容

- 県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析\*
- 事業者や県民等への情報提供
- 市町村等に対する適応策を推進するために必要な技術的助言
- 国立環境研究所気候変動適応センター（気候変動適応に関する業務や研究を行う国の拠点）との情報共有

※ 分析業務は国立環境研究所気候変動適応センターの技術的支援を受け、平成 32 年度以降実施する予定です。



愛知県の実情に合わせた適応策を進めていくために、  
地域の情報を集めることが重要なんだね！



## アクセスマップ



地下鉄  
名城線志賀本通駅下車  
4番出口  
北へ徒歩約15分

上飯田線上飯田駅下車  
3番出口  
西へ徒歩約6分

2019年3月発行

愛知県気候変動適応センター  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
愛知県環境調査センター1階 企画情報部内  
TEL: 052-910-5489/FAX: 052-991-6241

ウェブサイト <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/tekiou.html>

愛知県環境部地球温暖化対策課  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
TEL: 052-954-6242/FAX: 052-955-2029  
ウェブサイト <http://www.pref.aichi.jp/kankyo/index.html>